

CCPM 対応プロジェクト管理ソフトウェア 『BeingManagement クラウドサービス』

製品概要

2006年に販売を開始した『BeingManagement』シリーズは、「CCPM」に対応した国産初のプロジェクト管理ソフトウェアとして、これまで800社以上に採用されており。現在では、自動車・造船をはじめとする製造業、機械・設備、IT・ゲーム、サービスや医療・医薬品といった幅広い業界において、研究開発から、設計、製造、システム開発に及ぶ様々なフェーズに適用され、世界中で大きな成果をあげております。

CCPMの実践を強力にサポート

多くのCCPM導入実績から得たノウハウを基に、企業の環境や状況に合わせ柔軟に設定を変更できるモードを搭載し、最適なCCPMによるプロジェクト管理を実現します。また、初めての方から熟練者の方まで使いやすい直感的かつ優しい操作性を実現しました。これにより、CCPM導入の期間や労力を大幅に削減できます。

プロジェクトの投入をマネジメント

各プロジェクトの状況を一面で確認でき、プロジェクトの投入順序や開始タイミング・終了タイミングが決定できる「パイプライン管理」機能を搭載しています。プロジェクトの優先順位を考慮した上で、プロジェクトの投入順序と適切な開始タイミングをコントロールできます。プロジェクトの詰め込みすぎや投入遅延による無駄な停滞を防止し、最適なタイミングでの投入とリソースマネジメントによるスピードアップを実現します。

リソース管理と実行進捗管理

スキルマップを基に、リソースを疲弊させることなく現実合った最適なリソース計画を実現する「リソース管理」機能と、タスク実行優先度により「今、どの作業をすべきか」「今、どの作業をすべきでないか」を明確にして現場の混乱を防ぐ「タスク管理」機能を搭載しています。また、タスクの遅れ理由が登録でき、蓄積された遅れ理由を分析することで、改善ポイントを発見でき、プロジェクト管理の継続的な改善を実現します。

主な特徴



優先順位と投入時期－パイプラインマネジメント

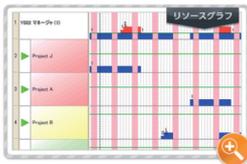
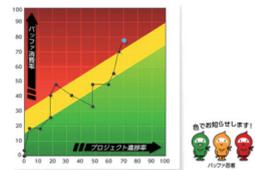
各プロジェクトの状況を一面で確認でき、投入順序や開始・終了タイミングを決定！プロジェクトの統合ポイント（多くのチェーンが合流するタスク）を基にプロジェクトの投入順序とタイミングをコントロールできます。プロジェクトの詰め込みすぎや投入遅延による無駄な停滞を防止し、適切なタイミングでの投入とリソースマネジメントによるスピードアップを実現します。

- ・ [統合ポイントで投入コントロール] 設定した統合ポイントの同時実行可能数を基に、自動もしくは手動で投入タイミングを決定する。
- ・ [キースキルの負荷グラフ] プロジェクト実行時にキーとなるスキルの負荷状況をグラフで確認し、過負荷を避ける。
- ・ [パイプライン What-if] 分析緊急の優先度が高いプロジェクトが発生した際、いつ投入でき、いつ完了できるのかの投入調整などができる

危険を察知し備える－バッファマネジメント

プロジェクトの「現在」をすばやく把握でき、迅速で正確なマネジメントができる必要十分な「情報」を提供！不確実な事象が発生し、遅れなどの変化が起こることを前提としたバッファ（安全余裕期間）をプロジェクトの最後に配置し、遅れを吸収します。プロジェクトの進捗率とバッファの消費率からプロジェクトの危険度を色で表示するので、誰もがすばやく同じ判断ができるようになります。

- 赤・黄・緑の色で納期に対する危険度を明示！信号機のようにプロジェクトの納期に対する危険度を色で表示します。
- 赤色は危険：遅れを回復する対策を実行する
- 黄色は注意：遅れを回復する対策を検討する
- 緑色は安全：プロジェクトに集中する



リソースを配置する－リソースマネジメント

スキルの負荷状況がグラフで見える
タスクに割り当てられたスキル（技術や知識、資格など）の負荷状況をグラフで表示します。

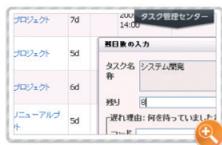
- ・ プロジェクト内の負荷グラフ
- ・ プロジェクト横断の負荷グラフ

を表示でき、利用可能数＝キャパシティにおさまっている場合は青で、超えている場合は赤で表示します。現在の負荷状況や未来の負荷状況を確認しながら、最適なスキルの負荷を検討できます。また、将来不足しそうなスキルを特定し、強化方法を検討することもできます。

着手すべき作業を知る－タスクマネジメント

- タスクの実行優先度が見える
各役割に応じて、割り当てられた実行待ちタスクと実行中タスクを実行優先度が高い順番に色で表示します。マイタスク機能を利用すれば、自分に割り当てられたタスクを瞬時に表示でき、タスクの実行優先度や状況をすばやく確認できます。

- タスクの進捗を残り日数で報告
タスクマネージャーはリソースにタスクの残り日数を確認し、タスク管理センターからタスクの進捗を残り日数で入力することで、簡単にプロジェクトマネージャーに報告できます。プロジェクトマネージャーは、報告された残り日数、あるいは更新された工程表から、プロジェクトの進捗状況を確認できます。
また、プロジェクトバッファを最も侵食しているタスクのリストを日々精査し、プロジェクトを進捗させるための回復策が実行されているか、または対策が必要かを確認します。



原因を知り改善する－継続的改善、タスクの遅れ理由の登録・収集

タスクの遅れ理由を収集し、改善ポイントを探す。

- タスクの遅れ理由をマスターから選択
タスクの残り日数進捗入力と同時に遅れ理由や日数を登録できます。遅れ理由は、「何を待っていたのか？」への答えとして報告することをおすすめしています。
また、一定期間登録した遅れ理由を収集し、根本原因や問題のあるプロセスを特定し、改善効果が高い理由を改善することで、効率的かつ効果的に大きな改善効果を得ることが可能です。

販売価格

個別見積

商品番号 1000251

BeingManagement